

全建発19～133号
平成19年8月3日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第530回建設技術講習会（環境・建設リサイクル）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約8万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、安全・安心基盤の確立に向け、自然災害対策、交通安全の確保、少子高齢化への対応等をはじめ、地域再生・都市再生の推進、環境対策、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第530回建設技術講習会では、環境の保全や循環型社会構築に向け、公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、新たな景観形成等、環境に関わる現状と課題に関する施策の動向を学ぶとともに、建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策による建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進など、建設リサイクルの現状と課題について、最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第18～304号
平成19年1月19日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 前 川 秀 和
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成19年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、安全・安心基盤の確立に向け、自然災害対策、交通安全の確保、少子高齢化への対応等をはじめ、地域再生・都市再生の推進、環境対策、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成19年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴 木 道 雄



第530回建設技術講習会（環境・建設リサイクル）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成19年10月10日（水）～12日（金）、北見市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、環境の保全や循環型社会構築に向け、公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、新たな景観形成等、環境に関わる現状と課題に関する施策の動向を学ぶとともに、建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策による建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進など、建設リサイクルの現状と課題について、最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、北海道・北見市の共催、国土交通省の後援のもと実施いたします。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員…… 8,200円〔昼食の幹旋なし〕
正会員（地元〔北海道内〕）…… 1,400円〔 〃 〕
非会員…… 13,200円〔 〃 〕
※「正会員（地元）」とは、開催地（北海道）内に勤務の「正会員」のみ
※聴講のみの参加は可能です

③現 場 研 修 料：…… 7,200円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

⑤申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 昭栄赤坂ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の初めに、開催回数の「530」をつけ加えて下さい。

⑦申 込 締 切 日：**平成19年9月21日（金）必着**（締切日以降の到着は受理できない場合があります。）

※取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

①	平成19年9月28日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成19年10月5日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡します。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定された講習会です。

（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 530 回建設技術講習会（環境・建設リサイクル）日程

～環境の保全、循環型社会構築に向けたゼロミッションの実現～

一公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、新たな景観形成等、環境に関わる現状と課題に関する施策の動向を学ぶとともに、建設リサイクル法の適正な運用と、公共工事のゼロエミッション化等の施策による建設廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進など、建設リサイクルの現状と課題について、最新の情報を得る一

会場…… 北見芸術文化ホール（音楽ホール）
〒090-0811 北見市泉町 1-2-22 TEL0157-31-0909

1日目 平成19年10月10日（水）				敬称略
10：00 }	あいさつ	国土交通省北海道開発局長	本 多 満	
10：20	〃	北海道知事	高 橋 はるみ	
		北見市長	神 田 孝 次	
10：20 }	建設リサイクルに関する今後の動向	国土交通省総合政策局事業総括調整官室	野 田 勝	
11：50		建設副産物企画官		
13：00 }	不法投棄の構造と産業廃棄物処理業優良化	千葉県県土整備部印旛地域整備センター	石 渡 正 佳	
14：30	推進事業の公開データ活用方法	用地課長（千葉県産廃Gメン）		
14：40 }	【特別講演】 知床世界遺産について	前斜里町長	ご 午 来 昌	さかえ
15：40				
15：50 }	【地域事業の紹介①】 北見道路整備事業について	国土交通省北海道開発局網走開発建設部	鈴 木 亘	
16：20		北見道路事務所長		
16：20 }	【地域事業の紹介②】 一般国道 334 号 斜里エコロードについて	国土交通省北海道開発局網走開発建設部	山 越 明 博	
16：50		網走道路事務所長		
2日目 10月11日（木）				敬称略
9：40 }	港湾環境行政の展開について	国土交通省港湾局国際・環境課	井 上 岳	
10：40		専門官		
10：50 }	景観法の制度活用を通じた良好な景観形成	国土交通省都市・地域整備局都市計画課	舟 久 保 敏	
11：50	の取り組み	景観室 課長補佐		
13：00 }	河川環境の整備と保全	国土交通省河川局河川環境課	田 中 敬 也	
14：00	～河川法改正から10年～	課長補佐		
14：10 }	道路の環境対策について	国土交通省道路局地方道・環境課	川 瀧 弘 之	
15：10	～地球温暖化対策と沿道環境対策の推進～	道路環境調査室長		
15：10 }	閉会のあいさつ	北見市建設技術協会長	庵 敏 幸	
		（北見市都市建設部長）		
	地域の独自調査			
【現場研修】 3日目 10月12日（金）				

北見駅南側ロータリー（8:15）出発

- 北見道路整備事業（下車説明）
- 昼食（斜里町ウトロ地区）
- 女満別空港（16:15）着後解散
- 一般国道 334 号 斜里エコロード（車窓見学）
- 知床世界自然遺産〔東林-ツクシニクバ イェイ他〕（下車説明）
- J R北見駅（17:00）着後解散

※ 解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※ 講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

CPDS学習プログラム認定講習会

第530回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 北見道路整備事業

…………… 北見市北上～端野町川向東 10 号

北見道路は、北見市街地の南側をバイパスする延長 10.3 km の自動車専用道路です。

5 箇所の特設トンネル、8 箇所の橋梁により自然の改変を最小化するとともに環境影響評価書に基づき、自然環境の保全対策を実施して、平成 16 年度から工事を開始しています。

なお、北見道路は、環境影響評価法に基づき、北見道路整備の事業内容が、環境にどのような影響を与えるのか、地域の方々や各方面の専門家の意見を反映する機会を設け、様々な検討を行い事業を進めています。

また、北見市では、市民参加により検討された都市計画マスタープランに北見道路を位置付けています。



2 一般国道 334 号 斜里エコロード

…………… 北海道斜里郡斜里町真鯉地区

一般国道 334 号の斜里町日の出から宇登呂間は、地域住民の生活を支える重要な道路であるばかりでなく、世界自然遺産に登録された知床半島に至る自然が豊かな道路のため、動植物などの生息環境への配慮が求められています。

特に、本路線内の真鯉地区ではエゾシカと自動車の衝突事故が多発しており、野生動物の保護と交通安全の両面から緊急な対策が課題となっています。

そこで、鹿通橋付近から小沢橋付近の 2.4km をエゾシカ等の大型動物対策の試験区間として、種々の対策を実施し整備効果の把握をしています。

道路にエゾシカが侵入しないように両側に防護柵を設置し、アンダーパス等により移動の障害を緩和し、自動車との動線を分けることによる事故対策を実施しました。しかし、防鹿柵の起終点部や取付道路部からの侵入を皆無にすることは道路の性質上、不可能であり、両側を柵で囲まれた道路にエゾシカが侵入した場合に、脱出させる施設としてワンウェイゲートやアウトジャンプを設置しています。



3 知床世界自然遺産〔東オホーツクシーニックパ イウェイ他〕

…………… 北海道斜里郡斜里町、目梨郡羅臼町

知床は、平成 17 年 7 月、南アフリカのダーバンで開催されていた第 29 回世界遺産委員会において世界自然遺産への登録が決定しました。

登録に当たって、流水が育む豊かな海洋生態系と原始性の高い陸生生態系の相互関係に特徴があること、シマフクロウ、シレットコスミレ等の世界的な希少種やサケ科魚類、海棲哺乳類等の重要な生息地を有すること等が評価されました。

また、世界的に見て普遍的な価値を有する知床の自然環境を将来の世代まで引き継いでいくため、環境省を始め、関係機関により様々な取り組みが始められています。

なお、国土交通省では、みちをきっかけに地域住民の方々と行政とが連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取組を進めることにより、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを図る取り組み「シーニックバイウェイ」の活動を支援している。知床を含む東オホーツク地域では、平成 17 年度から「東オホーツクシーニックバイウェイ」の活動が本格化している。



第 530 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には北見市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送 金 先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座№1015114

お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「530」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14 (都民興業日本橋ビル 6 階)

「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消し・返金について

平成 19 年 9 月 28 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 19 年 10 月 5 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成19年10月 9日(火),10日(水),11日(木),延泊12日(金)

(1 泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	北見東急イン	北見市大通西 2-1 TEL: 0157-61-0109	シングル	40 名	8,600 円
B	ドーマーイン北見 ※バスタブ無し、温泉大浴場有り	北見市北 4 条西 2-7-1 TEL: 0157-23-5489		60 名	8,000 円
宿泊斡旋人数合計				100 名	

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第 530 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A～E を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行㈱宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 「全建担当デスク」

【往路】10月9日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	羽 田 → 女 満 別 12:25 14:05	A D O 0 7 3 (北海道国際航空)	40 席	19,500 円
B	関西空港 → 女 満 別 15:55 18:00	J A L 2 6 1 9 (日本航空)	20 席	21,000 円

【復路①】10月11日（木）聴講終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
C	女 満 別 → 羽 田 19:00 20:50	A D O 0 7 8 (北海道国際航空)	10 席	21,000 円

【復路②】10月12日（金）現場研修終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	女 満 別 → 羽 田 19:00 20:50	A D O 0 7 8 (北海道国際航空)	40 席	21,000 円
E	女 満 別 → 関西空港 18:45 21:10	J A L 2 6 1 8 (日本航空)	20 席	24,000 円

- ・上記代金には、旅客施設使用料（羽田 1 区間 100 円）、が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	9/20～9/27 に取消した場合	9/28～10/4 に取消した場合	10/5以降便出発迄に取消した場合
A, C, D	羽 田 ↔ 女 満 別	3,000 円	6,000 円	9,000 円
B, E	関西空港 ↔ 女 満 別	3,000 円	6,000 円	9,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。